

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
こども学科											
社会的養護Ⅱ											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	演習	時間数	15	単位	1
担当教員	北原零未			実務 経験	無	職種					
授業概要											
1年次の「社会的養護Ⅰ」「こども家庭福祉」「社会福祉論」を踏まえて、その知識をさらに深め、具体的な実践力や技術を身につける。とりわけ施設養護と家庭養護の違いや、それぞれのメリット・デメリットについて改めて事例を踏まえて学び検討することで、社会的養護の重要性や意義を認識するとともに、自らは保育士として何ができるのか、何をすべきなのかを考え実践できる人材となることを目指す。											
到達目標											
社会的養護制度の対象となるのは、多種多様かつ極めて深刻な困難を抱えた子ども達である。社会的養護の現場における具体的な事例・事実を知り検討することで、ひとりひとりが近い将来保育士として、子ども達やその保護者達にどのように寄り添い、支援し、社会に貢献していけるのかを考え、保育士という職業の重要性・責務と職務の広さを深く理解すること、実践力を身につけることを目標とする。											
授業方法											
1年次の「社会的養護Ⅰ」をベースに、個人ワークおよびグループワークを中心とし、学生主体の時間とする。他者の意見、見解を聞き、また自らの意見を積極的に発することにより、自らの頭で考え、知識を深められるようにする。福祉職はチームワークと想像力が不可欠であるので、実際に社会に出てから戸惑うことのないよう、積極的なコミュニケーションを目指す。											
成績評価方法											
課題・宿題、授業内で行う小テストを70%、シャトルペーパーを30%とし、総合的に評価する。 ※遅刻・欠席・内職・妨害などは減点するが、ただ出席しているからといってそのこと自体は評価しない。											
履修上の注意											
私語等他者に迷惑を掛ける行為は退席を命ずる。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	子どもの権利擁護と保育者の倫理・責務										
第2回	施設養護の特性と実際										
第3回	家庭養護の特性と実際										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

こども学科

社会的養護Ⅱ

第4回

支援計画と内容：「自立」とは何か

第5回

自立支援方法の検討

第6回

日常生活支援と心理的支援

第7回

社会的養護の専門的技術の習得

第8回

社会的養護のニーズと在り方